



# 学校だより 逢う地

希望と目標を持ち、自立の基礎を身につけた生徒の育成

お・・思いやりのある学校  
う・・美しさに満ちた学校  
ち・・力を伸ばす学校

唐津市立相知中学校  
R元. 11. 22. 第 17号 文責：江川俊之

## 生徒会長選挙

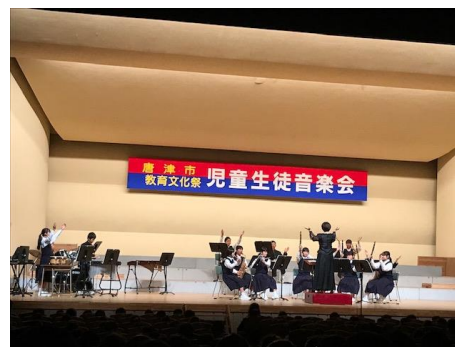
11月14日(木)生徒会長選挙立会演説会及び投票がありました。2年生から男女2名計4名が立候補しました。4名の公約を紹介します。①思いやりいっぱいプロジェクト～笑顔の輪を広げよう～ ②全校生徒が今よりも楽しめる学校 ③元気で生活しやすい学校 ④Change～生徒中心の学校を目指して～ どの候補者もそれぞれ生徒目線で学校全体のことを考えて、中にはさらなるグローバルな視点をもって自分への投票を訴えました。

開票の結果、富田美晴さんが次期生徒会長に選出されました。2年生の成長を嬉しく思うとともに、この学校の良き伝統を受け継ごうとする強い決意を感じ、心強く思いました。これまでこの学校を牽引してくれた3年生、本当にありがとうございました。何の心配もなく受験に備えてください。本校生徒会のますますの活躍を期待します。



## 唐津市児童生徒音楽会

11月12日(火)唐津市教育文化祭の一環として、児童生徒音楽祭が開催されました。今年度本校からは吹奏楽部が参加しました。3年生11名が引退し、1・2年生16名での演奏でした。初々しく懸命さを感じました。3年生が減った分、何か物足りなさを感じましたが、これからのチームです。当然ですよ。最初は皆そうなんです。他の活動も然り。伸びしろ無限大です。吹奏楽部も他の部活動や生徒会活動も限られた時間の中、効率よく努力を重ね、より多くの人に感動を与える存在になってほしいと切に願います。



## 薬物乱用防止教室

11月20日(水)県立盲学校の牟田征二先生を講師にお迎えして、標記の会を実施しました。先生の波乱万丈の人生の中で、薬物に手を出しては絶対ダメという説得力のあるお話は、衝撃的でとても心に残りました。

先生は中学時代不良グループの一員で、タバコやシンナーを吸っては、それらの購入代金欲しさから恐喝や窃盗を繰り返し、教護院や少年院の入退院を繰り返されたそうです。それでも依存性が高くシンナーを止められなくて18歳の時、突然緊急入院され、その時を境に視力を失われました。シンナーが視神経を融かしていたそうです。後悔と絶望感を救ってくれたのは、盲学校在学中の理療(あんま・マッサージ・指圧、鍼、灸)実習中に患者さんから感謝されたこと。まだ人の役に立つことができたと感じ、その後猛勉強の末、大学に進学し、教員免許(特別支援)を取得され、母校の佐賀県立盲学校で教壇に立たれています。



先生は盲学校在学中に知り合われた奥様と結婚され、お子様が二人いらっしゃいますが、奥様もお子様も顔を見たことがないということです。校長室の談笑では奥様はきつととびっきりの美人でしょうとお話されていました。しかし我が子の顔は見てみたいと切に語られていました。

若気の至りで薬物依存になり、失明という大きすぎる代償を払われた壮絶な過去をお持ちで、自分と同じ過ちを繰り返させないために、多くの場所で講演をされている先生に敬意を払うとともに、人間って良い出会いと強い意志があれば、どん底からでも、立ち直れるものだなと強く感じました。今芸能界での薬物乱用が話題になっていますが、改めて“薬物は絶対に絶対にNO”です。

※ 11月30日(土)子育て後援会 多数のご来場をお待ちしています。